

KCJS30 日本語 D クラス (3 年生レベル) 2018 年 秋学期

< 講師 >

担任：西俣美由紀 ^{にしまた み ゆ き} mf2249@columbia.edu

副担任：中村伊都子 ^{なかむら い づ こ} in2008@columbia.edu

講師室：扶桑館 2 階 F203 / 電話：(075)251-4996 / オフィスアワー：必要に応じて

< 授業時間 > 9:30-10:30 (1 時間目) と 10:40-11:30 (2 時間目)

< 教室 > 扶桑館 2 階 F214

< このコースの目標 >

1. 日本語の力を伸ばす

- 書かれたものや言われたことを正しく理解^{りかい}できるようになる。
- テキスト（読み物、写真、動画など）が、誰に、どうして作られているのか、また作者がそのテキストをなぜ作ったのかについて、分析^{ぶんせき}したり(analyze)批判^{ひはん}したり(critique)できるようになる（＝クリティカル・リーディング）。
- 自分が言いたいことを分かりやすく説明できるようになる。
- 場面^{ばめん}に合った話し方をすることができるようになる。

2. 日本語を使って、自分のまわりの社会や世界とかかわり、理解^{ふかい}を深める。

- 地域参加型^{ちいきさんかがた}プロジェクト（community involvement project, “CIP”）を通して、地元・京都の人々と交流^{こうりゅう}し、コミュニティーの一員^{いちいん}になる。
- まわりの人と話し合ったり、お互いに評価^{ひようか}しあったりして、仲間と共に学べるようになる。

3. 自分で日本語の勉強をデザインする

- 日本語で何ができるようになりたいか、そのために何をするか考える。
- 自分の学習^ふを振り返り^{かえ} (reflect)、どういうふうに日本語を勉強すればいいのかを考えて実行^{じっこう}する。
- 自分がいつもするまちがいに気づいて、できるだけまちがいを少なくする。

< コースの内容と教材 > *いくつかの教材はDropbox <https://www.dropbox.com/> を使って配布。

読む：文章を正しく読む練習。読んだことについて話したり書いたりする。表現や単語を学ぶ。

書く：言いたいことを分かりやすく書く練習をする。

聞く：聞いたことを理解し、よく分からなかった時は、聞き返せるようになるための練習をする。

話す：言いたいことをわかりやすく話したり、場面に合った話し方を練習をする。

文法：読み物に出てくる文法表現を学ぶ。日本語能力試験（JLPT）2級の文法を学ぶ。

漢字：小テストをすることで、漢字力をつける。『Kanji in Context』からレベル3の約400字。

多読：辞書を引かずに、できるだけたくさんのテキストを楽しく読む。

CIP：日本人のグループに参加し、教室では学べないことを学ぶ。

プロジェクト：新聞に投書する活動を通して、身近な経験の意味を考え、自分の問題意識に気づく。

< 注意 >

日本語アワー：午前9時から午後12時まで、次のことは扶桑館の外です。

- ①日本語以外を使う
- ②携帯電話・スマホ・パソコン・タブレットなどを使う

予習：予習をしてから授業に来る。

宿題：①出す日を守る（授業の最初）。遅れたら点が半分になる。

②再提出（Redo）^{さいていしゅつ}の宿題は3日以内に出す。

③自分一人です。他の人に見せてもらったり、直してもらったりしてはいけない。

欠席^{けつせき}：①休む時は必ず連絡をする。

②4時間までの欠席は、成績^{せいせき}に影響^{えいきょう}しない。ただし、連絡がない欠席は0点のまま。

遅刻：20分以上の遅刻は欠席。

試験／小テスト：①試験は病気などの特別な理由がなければ、受けられなかった分を後で受けることはできない。

②小テストはどんな理由でも、決められた時間以外に受けることはできない。

③小テストの最低点2つは、成績に入れない。

私的な旅行^{してき}での欠席：私的な旅行(personal trips)は「特別な理由」ではないので、出席参加点は0点になる。また、私的な旅行で受けられない試験／小テストは、別の日に受けることはできない。

ポートフォリオ：自分の学習の内省^{ないせい}(reflection)のために、授業で使ったものはすべてポートフォリオに整理する。

Office of Global Programs Columbia University Terms of Participation と Columbia College Honor Code (<http://www.college.columbia.edu/ccschonorcode>)を守って勉強してください。

< 日本語が上手になるためのコツ (tips) >

①日本語でたくさん話す：日本人とはもちろん、KCJSの友達ともできるだけ日本語で話す。

②習ったことを使う：宿題や作文に習った漢字や文法を使う。話す時も習った表現を使ってみる。

③オフィスアワーを使う：分からないことは一人一人違うので、オフィスアワーに行って、質問をする。

④タイムマネジメント：

a) 宿題の多さは毎日同じではないので、スケジュールを見て、時間をうまく配分^{はいぶん}する (distribute)

b) 小テストの勉強と書く宿題だけに時間を使わない。読み物や表現の予習^よがとても大切。

c) 単語や漢字を覚える時、「長い時間×1回の勉強」で覚えることはできない。

「短い時間×何回かの勉強」の方が覚えやすく忘れにくい。

< 評価 >

授業 (38%)	出席・参加（準備、積極性）	20%
	宿題	15%
	ポートフォリオ	3%
小テスト 試験 (50%)	小テスト（漢字、単語）	15%
	試験（3回）	20%
	会話テスト（2回）	5%
	期末試験	10%
プロジェクト (12%)	地域参加型プロジェクト（CIP）	5%
	プロジェクト	7%

出席・参加の評価基準（0.5点きざみで、1時間ごとにつけます）

	新出語彙・ 漢字の予習	予習段階での 疑問点の明確 度	課題の内容 の 理解度	授業への 参加度	発 言 の 正 確・ 流暢さ	以前受けた フィードバ ックへの注 意度
10.0 点	◎	◎	◎	◎	◎	◎
8.0 点	○	△	○	◎	○	△
6.0 点	△	△	△	△	△	△
5.0 点	×	×	×	×	×	×
0 点	欠席					

100－94.0 A	93.9－90.0 A-
89.9－87.0 B+	86.9－83.0 B
82.9－80.0 B-	79.9－77.0 C+
76.9－73.0 C	72.9－70.0 C-
69.9－67.0 D+	66.9－63.0 D
62.9－60.0 D-	59.9 - F